

平成26年9月17日  
記者発表

## 地方公共団体管理の老朽橋梁に 「道路メンテナンス技術集団」を派遣します ～全国3橋梁で直轄診断を試行～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

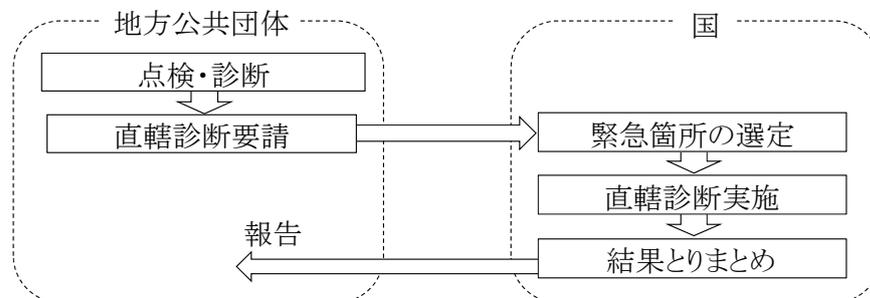
そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い下記の3橋梁について直轄診断<sup>\*</sup>を試行的に実施することとしましたので、お知らせ致します。

橋梁名	市町村名	直轄診断実施主体
みしまおおほし 三島大橋	みしままち 三島町（福島県）	東北地方整備局
おおまえはし 大前橋	つまごいむら 孺恋村（群馬県）	関東地方整備局
おおどだむおおほし 大渡ダム大橋	によどがわちよう 仁淀川町（高知県）	四国地方整備局

- ・各橋梁の内容については、別添をご覧ください。
- ・現地作業の実施日については、後日、各地方整備局より発表させていただきます。

※直轄診断：「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

### 【全体の流れ】



【資料】 別添：今年度実施箇所

### <問い合わせ先>

道路局 国道・防災課 道路保全企画室 企画専門官 田中 倫英

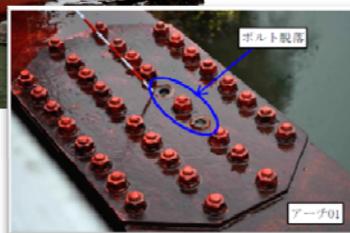
代表 03-5253-8111（内線 37813）直通 03-5253-8494 FAX 03-5253-1620

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp>）にも掲載しています。

# 【別添】直轄診断実施箇所

県名	町村名	路線名	橋梁名	建設年	延長(m)	緊急性・高度な技術力の必要性 (町村での点検結果より)
福島県	みしままち 三島町	町道 みやしたないり 宮下名入線	みしまおおはし 三島大橋	昭和50年	131	大規模アーチ橋で多数のボルト破壊が進行しており、早急に全てのボルト交換が必要
群馬県	つまごいむら 孺恋村	村道 おおまえほそばら 大前細原線	おおまえはし 大前橋	昭和33年	73	建設後50年以上が経過した施工方法等の詳細が不明なコンクリート橋であり、主桁等に大きな損傷が見られる
高知県	によどがわちょう 仁淀川町	町道 によどあがわ 仁淀吾川線	おおど おおはし 大渡ダム大橋	昭和58年	444	高度な専門技術が求められる吊り橋で、健全性に大きな影響をもつ主桁接合部などで損傷が散見

三島大橋



ボルトの脱落

大前橋



主桁・橋脚の損傷

大渡ダム大橋



主桁の腐食

# 「橋梁点検の現地講習会」を開催しました。

## ～石川県道路メンテナンス会議～

石川県道路メンテナンス会議（県内道路管理者が連携して道路施設の老朽化対策の強化を図ることを目的にH26.6.23設立）では、県内自治体職員の技術力向上のために支援として、橋梁点検現地講習会を開催しました。

### 講習会開催状況

- 日時：8月26日（火）10:00～11:00
- 場所：国道157号 山上郷大橋（白山市水戸～能美市和佐谷）  
橋長241m 1982年完成（32年経過）
- 受講者：自治体職員32名  
降雨により出席できなかった1市を除き県内全市町が出席（10市8町）
- 講習内容：①床版コンクリート上面の近接目視点検  
②テストハンマーによる打音調査
- 報道：民放テレビ1社、新聞1社、業界紙1社



### 講習会参加者の声

- 実際に打音調査等の体験が出来たことは有意義であった。
- 今回の講習を機に本格的にメンテナンスを学んでいきたい。

# 「トンネル点検の現地講習会」を開催しました。

## ～石川県道路メンテナンス会議～

石川県道路メンテナンス会議（県内道路管理者が連携して道路施設の老朽化対策の強化を図ることを目的にH26.6.23設立）では、県内自治体職員の技術力向上のために支援として、トンネル点検現地講習会を開催しました。

### 講習会開催状況

#### ■七尾地区

日時： 9月2日（火）14:00～15:00

場所： 国道160号 郷橋トンネル（七尾市殿町～沢野町）  
トンネル延長97m 昭和59年完成（30年経過）

#### ■金沢地区

日時： 9月3日（水）14:00～15:00

場所： 国道8号 平谷トンネル（河北郡津幡町）  
トンネル延長186m 平成10年完成（16年経過）

#### ■受講者： 自治体職員20名

急用により出席できなかった1市を除きトンネルを管理する県内全市町が出席（7市4町）

#### ■講習内容： ①高所作業車上からの近接目視点検

②テストハンマーによる打音点検

#### ■報道： 新聞2社、業界紙1社



テストハンマーによる打音点検（9/2）



高所作業車上の近接目視点検（9/3）

### 講習会参加者の声

■これまで遠望点検しかしたことがないので近接点検できたのは貴重な経験。

■点検のチェックポイントや損傷事例などを分かりやすく説明いただいた。

## 1. 開催主旨

道路施設の現状や老朽化対策の必要性に関して、広く一般市民にご理解していただくことを目的に、道の駅、市役所ロビー等で広報パネルの展示会を開催しました。

## 2. 開催状況



金沢市役所 (H26. 7. 7~18)



「道の駅」しらやまさん (H26. 8. 4~22)

開催日、予定	展示会場	住所	イベント等
7月7~18日	金沢市役所	石川県金沢市	—
8月4~22日	「道の駅」しらやまさん	石川県能美市	—
9月2~18日	白山市民交流センター	石川県白山市	—
9月19~10月3日	輪島市役所	石川県輪島市	—
11月1、2日	河北台中学校講堂、河北台 健民体育館ほか	石川県かほく市	かほく市生涯学習フェスティバル
11月10~21日	石川県庁	石川県金沢市	—

## 道路メンテナンス総力戦

- ▶ 高度経済成長期に集中的に整備された社会資本ストックが今や高齢化し、道路インフラの一部で損傷が顕在化してきています。老朽化対策は、喫緊の課題です。
- ▶ 去る4月14日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会は、『最後の警告』として、一刻も早い本格的なメンテナンス体制の構築を求める提言を、国土交通大臣へ手交しました。
- ▶ その提言の一部と、全国で実施されているメンテナンス活動をパネルでご紹介致します。ご理解の一助になれば幸いです。どうぞご覧下さい。



国土交通省 北陸地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Hokuriku Regional Development Bureau

道路部